

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部（3年制）	2020年度	3年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
学科	古美術研修	専任教員、北進一	1単位 24時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>ファインアート科、ビジュアルデザイン科3年生合同で行動。京都に3泊4日。仏像や障壁画を拝観。一般には公開していない特別拝観の寺院などに行く。（等伯の襖絵・等伯の障壁画・探幽の障壁画・狩野永岳の襖絵など）</p>			
【講義概要】			
<p>研修で見る寺院、仏閣にある仏像や襖絵、障壁画などは図録や美術書といった図版でしか普段は目にすることができません。たまに美術館で特別展示を行うこともありますが、現地で間近に見るのは全く雰囲気も感じ方も違います。参加することはたとえ分野が違っていても今後の制作にいい刺激になることでしょう。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	東京から京都へ新幹線で移動 南禅寺特別拝観見学		
2	南禅寺特別拝観見学		
3	智積院宝物庫見学		
4	大徳寺特別拝観見学		
5	平等院、法界寺見学		
6	醍醐寺見学		
7	広隆寺、東寺見学		
8	京都から東京へ新幹線で移動		
【成績評価方法】			
<p>研修の参加を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>講義形式を基本とする。研修に参加しない学生には作品課題を制作して提出。 和光大学卒業後、中国・山東大学に留学。群馬県立女子大学兼任講師。専攻は日本および東洋美術史。主にアジア各地域の仏教美術の変遷を追究している。 著書に『ほとけを知る一仏像めぐりハンドブック』（シンコミュージック・エンターテイメント）『アシュラブック』（美術出版社）、共著に『カラー版東洋美術史』（美術出版社）。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部（3年制）	2020年度	3年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	フランス語II	内田雅之	2単位 37.5時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
フランス語1の修了者を対象として、一年次に習得した基礎力を基盤としながら会話表現・文法の両面での知識を広げていきます。また、少しずつ書かれたものを読む練習も行います。			
【講義概要】			
前期は、まず問題練習などを通じて、書くという別観点を少し意識しながら昨年の復習を行います。その後複合過去、単純未来へと文法面で次のステップへと移っていきます。後期は、フランス旅行の機会を想定して、オリジナルのフランス旅行のしおりを作成していく課題が課され、校内展示の機会を設けます。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	17	講義
2	講義	18	講義
3	講義	19	講義
4	講義	20	講義
5	講義	21	講義
6	講義	22	講義
7	講義	23	講義
8	講義	24	講義
9	講義	25	講義
10	講義	26	講義
11	講義	27	講義
12	講義	28	講義
13	講義	29	講義
14	講義	30	講義
15	講義	31	講義
16	中間試験	32	後期試験
【成績評価方法】			
<p>期末ごとに試験を行い100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>講義・ディスカッション形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>1969年福岡県生まれ。早稲田大学大学院文学研究科仏文専攻修士課程修了。多摩美術大学非常勤講師。また俳優養成所を経て映画・舞台に出演、受賞作多数。またTHEATRE茶房の冠でプロデュースも行ない、ギャラリー・プリントでの『クロワゼ』公演、朗読、ミュージシャンやビデオアートとのコラボレーションなど活動の幅を広げている。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部 (3年制)	2020年度	3年・前期/後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	特別講座/就職セミナー	ゲスト講師	1単位 21時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>特別講座：現代社会においてクリエイターの役割は益々重要性を増し、その領域は日々拡大しつつあります。講座では創作における考え方、発想をリアルタイムな講義を通して学んでいきます。</p> <p>就職セミナー：就職活動から入社後の心構えやクリエイターとしての取り組みなどについてセミナー講座を開催。 *1年生は夏課題と合わせて単位修得</p>			
【講義概要】			
<p>7/11(土)就職セミナー1 (卒業生)、7/28(火)就職セミナー2 (岡山)、9/4(金)2限目古美術研修講座、9/26(土)同窓会特別講座、10/7(水)知的財産権 (山本)、10/17(土)就職セミナー3 (アイデム)、12/12(土)創形展特別講座*日程は出講表を確認すること。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	就職セミナー1		
2	就職セミナー2		
3	古美術研修講座		
4	同窓会特別講座		
5	知的財産権講座		
6	就職セミナー3		
7	創形展特別講座		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100~95 : A+ 94~80 : A 79~70 : B 69~60 : C) 不合格 (59~0 : D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>講義・ディスカッション形式を基本とする。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部（3年制）	2020年度	3年留学生・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	日本語能力試験N1対策	蔣燕萍	2単位 63時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>①日本語能力試験N1に合格できる力を付けること。 ②試験対策にとどまらない全般的な語彙の力をつけること。</p>			
【講義概要】			
試験に出題される「文字語彙」「文法」「聴解」の練習問題の解答を通じて日本語力を向上させること。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	17	講義
2	講義	18	講義
3	講義	19	講義
4	講義	20	講義
5	講義	21	試験
6	講義		
7	講義		
8	講義		
9	講義		
10	講義		
11	講義		
12	講義		
13	講義		
14	講義		
15	講義		
16	講義		
【成績評価方法】			
<p>試験を行い100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>講義・ディスカッション形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 中国福建省出身。2008年来日。2011年日本語能力試験N1合格。2014年3月札幌大学経営学部経営学科卒業。 2014年4月株式会社アイデム入社。新卒担当のエージェントとして留学生の就職をトータルサポート。2016年7月より創形美術学校にて主に広報活動と留学生教育に携わる。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部 (3年制)	2020年度	3年留学生・前期/後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	美術日本語	メロス言語学院講師	2単位 36時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
美術・デザインに関する専門用語の勉強によって、日本語（特に口語能力）の向上を目標として挙げます。			
【講義概要】			
1.1分間スピーチ（30分） 2.美術関係記事についてのディスカッション（50分） 3.映像教材を用いた美術用語導入（90分） 4.前回導入した美術用語のチェック小テスト（10分） 5.課外宿題			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	講義		
3	講義		
4	講義		
5	講義		
6	講義		
7	講義		
8	講義		
9	講義		
10	講義		
11	講義		
12	試験		
【成績評価方法】			
試験を行い100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・ディスカッション形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部（3年制）	2020年度	3年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択実技	UIデザイン	谷内晴彦	1.5単位 42時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
ひとつのテーマから情報を整理し、Adobe XDを使用してデジタルコンテンツを設計するまでのプロセスを身につけることが目標です。どのように伝わるかどうか？どれだけ機能的か？常に客観的に観察する視点を持ちながら、アプリ開発、またはウェブサイトのプロトタイプを完成させます。			
【講義概要】			
デジタルコンテンツはどうやってつくられるのか？様々なプロセスを体験することで、実践に役立つ演習を試みます。ここではウェブサイト・スマホアプリにおける情報の編集、ワイヤーフレームの設計など、導線や画面遷移といったウェブの仕組みを理解し、UIデザインの基礎を習得します。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	制作指導		
3	制作指導		
4	制作指導		
5	制作指導		
6	制作指導		
7	制作指導		
8	制作指導		
9	制作指導		
10	制作指導		
11	制作指導		
12	制作指導		
13	制作指導		
14	講評		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1979年生まれ。desegno ltd. アートディレクター。ジャンルを問わない国内外のブランディング事業に携わる。 2017年企業コンサルティング会社cd.を設立。デザイン領域の拡大を目指す。賞多数。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部 (3年制)	2020年度	3年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	版画総合研究	鈴木吐志哉、 山本剛史、 東樋口徹、 中村真理	16単位 303時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>版画表現における各自のテーマにそった表現方法コンセプトを考察・研究・制作する。卒業制作を始めるにあたりファインアート科3年全体のグループ展覧会を行う。いかにして自己の版画作品を有効に提示出来得るか検証し、グループ展示を通して展覧会の準備、運営など作品発表に必要な手順を学ぶ。</p>			
【講義概要】			
<p>版画作品を2点制作します。グループ展示。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	～5 制作、制作指導		
6	～10 制作、制作指導、中間チェック		
11	～15 制作、制作指導		
16	～20 制作、個別指導		
21	～25 制作、個別指導、中間チェック		
26	～30 制作、制作指導		
31	～35 制作、制作指導		
36	～40 制作、個別指導、中間チェック		
41	～45 制作、個別指導		
46	～50 制作、個別指導		
51	～55 制作、制作指導		
56	～60 制作、個別指導、中間批評会		
61	～65 制作、制作指導		
66	～70 制作、個別指導		
71	～75 制作、個別指導、中間チェック		
76	～80 制作、個別指導		
81	～85 制作、個別指導、中間チェック		
86	～90 制作、制作指導		
91	～95 制作、制作指導		
96	～100 制作、制作指導		
101	講評		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 ファインアート科 専任 鈴木 吐志哉：1968年東京都生まれ。創形美術学校研究科版画課程修了。2002年文化庁芸術家国内研修員。現代日本美術展（神奈川県立近代美術館賞）。飛騨高山現木版画ビエンナーレ（大賞）他、（社）日本版画協会会員。版画学会会員。 東樋口 徹：1975年奈良県生まれ。2006年東京藝術大学美術研究科修了。2005年第3回山本鼎版画大賞展準大賞、2007年Prints Tokyo 2007買上賞（三極）、2009年The 2nd NBC MESHTEC TOKYO INTERNATIONAL SCREEN PRINT BIENNIAL優秀賞。2015アワガミ国際ミニプリント展大賞。（社）日本版画協会会員。 中村 真理：1988年埼玉県生まれ。武蔵野美術大学大学院版画コース修了。2013年日本版画協会第81回版画展山口源新人賞、第39回全国大学版画展収蔵賞、2015年武蔵野美術大学卒業・修了制作展優秀賞、第87回版画展準会員優秀賞（社）日本版画協会会員。 山本 剛史：1967年静岡県生まれ。創形美術学校版画科卒業。主に「建築」「椅子」をモチーフにし、空間と「もの」のたたずむ相を切り取る作品を展開、近年では転写法を用いた平面作品や、平面にとどまらないオブジェ作品を制作、表現方法を広げている。東京、埼玉、神奈川、長野、名古屋、ドイツ、イギリス、上海などで個展発表。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部（3年制）	2020年度	3年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	卒業制作	鈴木吐志哉、 山本剛史、 東樋口徹、 中村真理	16単位 447時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
専任教員および非常勤講師との個別面談や指導を対話方式で行い、各自のテーマや制作コンセプトについて研究する。また講評会により各自のテーマおよび技法を深め、研究成果が最大限に反映された作品の制作を目指します。			
【講義概要】			
版画4作品制作（1作品につきシート1枚提出。※4作品は提出後、指定期日までに額装もしくは展示可能な状態にする事）			
回	授業計画及び学習の内容		
1	～5 制作、制作指導		
6	～10 制作、制作指導		
11	～15 制作、制作指導、中間チェック		
16	～20 制作、制作指導		
21	～25 制作、制作指導、1点目講評		
26	～30 制作、制作指導		
31	～35 制作、制作指導		
36	～40 制作、制作指導、中間チェック		
41	～45 制作、制作指導		
46	～50 制作、個別指導、2点目講評		
51	～55 制作、制作指導		
56	～60 制作、個別指導、中間チェック		
61	～65 制作、個別指導、ポートフォリオ指導		
66	～70 制作、制作指導		
71	～75 制作、制作指導		
76	～80 制作、制作指導、中間講評		
81	～85 制作、制作指導		
86	～90 制作、制作指導		
91	～95 制作、制作指導		
96	～100 制作、制作指導		
101	～105 制作、個人面談、3点目講評		
106	～110 制作、個人面談		
111	～115 制作、個人面談、ポートフォリオチェック		
116	～120 制作、個別指導		
121	～125 制作、個別指導		
126	～130 制作、個別指導		
131	～135 制作、個別指導		
136	～140 制作、個別指導		
141	～145 制作、個別指導		
146	～149 制作、プレゼンテーション、合同講評会		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 ファインアート科 専任 鈴木 吐志哉：1968年東京都生まれ。創形美術学校研究科版画課程修了。2002年文化庁芸術家国内研修員。現代日本美術展（神奈川県立近代美術館賞）。飛騨高山現木版画ビエンナーレ（大賞）他、（社）日本版画協会会員。版画学会会員。東 樋口 徹：1975年奈良県生まれ。2006年東京藝術大学美術研究科修了。2005年第3回山本鼎版画大賞展準大賞、2007年Prints Tokyo 2007賞上賞（三極）、2009年The 2nd NBC MESHTEC TOKYO INTERNATIONAL SCREEN PRINT BIENNIAL優秀賞。2015アワガミ国際ミニプリント展大賞。（社）日本版画協会会員。中村 真 理：1988年埼玉県生まれ。武蔵野美術大学大学院版画コース修了。2013年日本版画協会第81回版画展山口源新人賞、第39回全国大学版画展収蔵賞、2015年武蔵野美術大学卒業・修了制作展優秀賞、第87回版画展準会員優秀賞（社）日本版画協会会員。山本 剛史：1967年静岡県生まれ。創形美術学校版画科卒業。主に「建築」「椅子」をモチーフにし、空間と「もの」のたたずむ相を切り取る作品を展開、近年では転写法を用いた平面作品や、平面にとどまらないオブジェ作品を制作、表現方法を広げている。東京、埼玉、神奈川、長野、名古屋、ドイツ、イギリス、上海などで個展発表。			